
平凡女性の転生記～始音～

憂俚

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

平凡女性の転生記〜始音〜

【Nコード】

N5296M

【作者名】

憂俚

【あらすじ】

「え、そんな理不尽な理由で私死んだの？」

平凡な女性^{ゲーム}が理不尽な理由で死亡、色んな世界に転生する話です。

プロローグ1(前書き)

一応、転生モノで。

原作にオリジナル話を加え、更にチート能力でナルト達との友情話になったらいいなあ…。

主人公は女性

は？チート

聖霊…、NARUTOだぜ？意味不
が嫌な方にはオススメしませんので。

プロローグ 1

「ふんふん…どん…」

気付けば、私は……。

とても可愛らしい、ファンシーな部屋に居た。

確実に私の部屋ではない！

私はこういうファンシーなのは苦手だからだ！！

あ、吐きそう。

「ちよ、ちよっと！止めてよ！？わたくし私の部屋ですよ！」

「ん？」

私はリバースを止め、声の聞こえた方向を向く。

「お、お嬢様！」

「アンタは執事か！！」

お嬢様風の少女にツツコミを頂きました！はい、拍手！

「冗談。で？あなたは？」

「私はエルヒ・ガラリール・リヒテン：（省略）」

「長いわ！エルヒガンテで良いよね？」

「嫌よ！それ、バイオハザードの巨人的な敵の名前だし！」

「我が儘だな…泣けるぜ」

「エルヒでいいわ」

「（レオンのモノマネシカトされたし…）。

じゃあ、エルヒ。ここはあなたの部屋でいいとして。私は何故ここに？」

「死んだからよ」

「は…。ごめん、もう一回」

「だから、あなたは死んだの」

プロローグ 2

エルヒが説明を簡単に言おうと。

私は死んだ。

あ、それは分かってるか。

世の中には神様って何人が居るらしい。

彼らは神という職業で、世界を管理してるらしい。

そんな中、彼らの一人がストレスの溜まり過ぎで可笑しくなった。

仮に神Aとしよう。

可笑しくなった神Aは、自分の管理する世界の人間を、うさばらしで殺したらしい。

最低だよな…。

それで、その理不尽な理由で殺された人間が…私。

泣けるぜ。

いや、辛すぎて泣けねー！

「頭の整理終わった？」

「まあ…。なんとかね。」

エルヒは優雅に椅子に座ってるし、神なんて嫌いだ。

「私達もこの事態は不味いと思ってるの」

「ふん…」

「だから！アナタを転生させるわ」

「……は？」

二度目の…は？ですよ

全く、転生って…

どこの小説ですか？

「そうね…。空きがある世界は……」

ちょっと待て

なんだよ！空きがある世界って！？

え、世界って人数決まってるの!?

「あ、ここ面白そう。決まりましたわ! アナタの転生する世界が!」

決まりましたって、エルヒの独断じゃん!!
しかも面白そうって言ったよ!?

「NARUTOの世界で、転生サービスで能力を3つ付けてあげられます。何がいい?」

えゝいらなにの…。平凡な一般市民でいいよ。

「つべこべ言わずにさっさと決めなさい!」

「は、はい! あれ? もしかして心の声を…」

「聞こえてるわよ」

「は、恥ずかしい…／／／」

「はい、さっさと決めて」

「冗談が通じない神様だな…」

プロローグ 3

「じゃあ…。1つ目は、身体能力の向上を高くして欲しいな」

「あら、最強もできるのよ」

「いや、私普通に生活したいけど、エルヒは絶対忍びにさせるでしよ？」

「当たり前でしょ、普通なんて見ててツマラナイわ」

ほらね（泣）

「だから、生き残る為には人より身体能力向上が高い方が良いの、最初から最強なんてツマラナイでしょ？……危険に巻き込まれそうだし」

「（本音が出たわね）じゃあ、次」

「んゝ人の言葉を喋れないモノ。動物とかと喋れるようになりたい

「！」

「情報を集めるのに使うのね」

「ただ、動物が好きただけだよ」

「……………。じゃあ最後」

「その前に！NARUTOの世界って聖霊とか居るの？」

「さっき資料見た時は居るって書いてあったわよ。人には見えないみたいだけど」

「じゃあ、見えるようにして欲しい！ファンシーは嫌だけど、ファンタジー的なのは好きなの私、だから見て見たいの！」

「分かったわ。じゃあこれで全部ね」

そう言うとエルヒはパソコンに何かを打ち込んでいく。

「せっかくだし、他の人より最初から少し強くしとくわ♪」

「ちょ！余計な事なくていいから！」「はい、完了♪」

「なんか色々オワタ……」

「ちなみに転生する先の家族とかは分からないから。でも、忍びになりなさいよ！」

「はいはい、まあ…せっかくだし、楽しむよ」

「そうしなさい、あ。そうだ」

「ん？」

「行っててらっしゃい、リエ」

「行って来ます、エルヒ。ありがとう」

プロローグ3 (後書き)

遅くなりましたが、プロローグ完でございます。

さて、主人公リエはどこに転生するのか…。

次回もお楽しみに！

(読んでる人居るかな？)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5296m/>

平凡女性の転生記～始音～

2010年10月9日01時35分発行